

# こどもの権利

～大人が変われば子どもが変わる

こどもを取り巻く現状と課題～

「こどもの権利」は、すべての子どもが生まれながらに持っている権利です。

この講演会ではこども権利条約やこども基本法の考え方や、子どもの声を聴き、尊重することの大切さについて、わかりやすくお話いただきます。

未来をつくる子どもたちの笑顔があふれる社会にするために私たち大人ができることをみんなで考えてみませんか。

日時 令和8年7月30日(木)

第1部：14時～15時

第2部：15時10分～15時40分

場所 岐南町中央公民館 講堂

参加無料・申込不要。直接会場へお越しください。

## 第2部 パネルディスカッション

コーディネーター 辻 由起子氏 (こども家庭庁参与)

パネリスト

- ・市橋 亮一氏 (医療法人かがやき 理事長)
- ・後藤 友紀 (岐南町長)
- ・野原 弘康 (羽島郡二町教育委員会 教育長)

## 第1部 基調講演



辻 由起子氏

(つじ ゆきこ)

社会福祉士・保育士・防災士。

大阪府茨木市生まれ。19歳で娘を出産、23歳でシングルマザーに、自身の経験を踏まえ、府子ども虐待防止アドバイザーや同市市政顧問(2013～16年)など、各地の自治体の子育て支援施策作りに関わる。こども家庭庁参与。親子で学ぶ防災活動にも取り組む。

今の岐南町の子供達現状は？

必要なことは何か？

教育・福祉・医療・行政のこれからについて一緒に考えましょう！

託児は設けていませんが、  
お子さん同席可能です！



【問い合わせ】

岐南町役場 こども安心課 ☎058-247-1344

## 講師・パネリスト のご紹介



辻 由起子氏

1973 年大阪府生まれ。

佛教大学にて幼児教育および社会福祉を専攻。

10 代での出産、シングルマザーとしての育児、そしてお子様の不登校経験など、数々の困難を乗り越えてきた「当事者」としての視点と、小・中学校の相談員としての専門的な知見を併せ持つ。

現在は、内閣官房こども政策参与としてこども家庭庁の設立に尽力するなど、国政レベルでの政策立案に関与。また、全国各地で自治体の審議会委員やアドバイザーを歴任し、子育て支援の第一線で活躍している。

「すべての人が子育てを楽しめる社会の実現」を掲げ、その活動は NHK『おはよう日本』や『24 時間テレビ』など、メディアでも広く取り上げられている。社会福祉士、保育士、防災士など多岐にわたる資格を有する。



市橋 亮一氏

医療法人かがやき理事長・総合在宅医療クリニック名駅院長。在宅専門医、総合診療専門医、病理医。1973 年愛知県生まれ。

名古屋大学医学部卒業後、血液内科医として研鑽を積む。2009 年、岐阜県初の在宅医療専門クリニックを開設。現在は岐阜・愛知・滋賀の 4 拠点にて、約 100 名のスタッフと共に地域密着型の在宅医療を提供しており、これまでに約 4,000 名もの在宅生活を支えてきた。2021 年には岐南町にて医療的ケア児のための医療型短期入所施設「かがやきキャンプ」を立ち上げるなど、患者・家族の生活の質（QOL）向上に注力している。NHK スペシャル出演や在宅医療に関する著書執筆など、その活動は広く注目を集めている。

岐南町長。1977 年岐南町生まれ。

2016 年岐南町議会議員に初当選。議長職を歴任した後、2024 年 4 月、岐南町長に就任。町初、そして県内 34 年ぶりとなる女性首長として、新たなリーダーシップを発揮している。自身の 3 世代同居の経験や女性の視点を活かし、ハラスメントの再発防止や、未来を担う世代のための子育て・教育支援に積極的に取り組む。町民一人ひとりの声に耳を傾け、誰もが主役となる「住民主体のまちづくり」の実現を目指して精力的に活動中。趣味はフラダンス。



後藤 友紀

羽島郡二町教育委員会 教育長。1962 年岐阜市生まれ。

岐阜大学教育学部卒業後、長年にわたり教育現場の第一線で活躍。

大垣市立西部中学校長、岐阜市立七郷小学校長として学校運営の要を担ったほか、岐阜市子ども・若者総合支援センター所長として、学校教育だけでなく、子どもや若者を支える支援体制の構築に尽力した。現在は、羽島郡二町教育委員会の教育長として、地域教育の更なる発展を目指している。趣味はものづくりと尺八。



野原 弘康